

令和２年度 大池中学校 ３年生シラバス

☆学習のねらい

☆評価の観点および方法

☆学習計画

☆学習方法についての

アドバイス

目 次

国 語	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 3
社 会	・ ・ ・ ・ ・	4 ～ 9
数 学	・ ・ ・ ・ ・	10 ～ 11
理 科	・ ・ ・ ・ ・	12 ～ 14
音 楽	・ ・ ・ ・ ・	16 ～ 17
美 術	・ ・ ・ ・ ・	18 ～ 19
保健体育	・ ・ ・ ・ ・	20 ～ 21
技 術	・ ・ ・ ・ ・	22 ～ 23
家 庭	・ ・ ・ ・ ・	24 ～ 25
英 語	・ ・ ・ ・ ・	26 ～ 28

大池中学校	第3学年	国語科
-------	------	-----

1. 学習のねらい

学習のねらい	(1) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 (2) 自分の考えをまとめる的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。 (3) 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。 (4) 文字の配置やバランスを考えて書く能力を高めるとともに、読みやすい字を正しい筆順で書こうとする態度を育てる。
使用教材	「国語3」光村図書 「新編 新しい書写1・2・3年」東京書籍 「新基礎の学習3」新学社 「すらすら基本文法」浜島書店 「書いておぼえる漢字ノート3」あかつき 「国語便覧」浜島書店

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
国語への関心 意欲・態度	- 国語の授業に積極的に参加し、授業中の話を集中して聞き、意見を言うことができる。 - 授業に関したことに興味・関心を持ち、自主的に学習を深めることができる。	- 授業の観察（態度・発表など） - ワーク・ノート・作品などの提出状況と出来栄 - 古典作品などの暗唱 - 自己評価
話す・聞く 能力	- 自分の考えを大切にし、聞き手にわかりやすく伝えようとする。 - 話し手の考えを自分の考えと比べながら聞き取ろうとする。 - 詩や文章を工夫して朗読しようとする。	- 自己評価、相互評価、教師の評価 - 発表や意見の内容 - 聞き取りテスト - 音読テスト
書く能力	- 自分の考えが相手に伝わるような文章を書こうとする。 - テーマに沿って自分の考えをまとめ文章に書き表そうとする。日本語を正しく書いたり、きれいにまとめたりすることができる。	- 課題作文・感想文 - 定期テスト - ノートの記述
読む能力	- 文章の構成や展開・表現に注意して読もうとする。 - 文章に表れているものの見方や考え方をつかみ、自分の考えをもつ。	- 定期テスト - 提出作品、プリントの内容
言語について の知識・ 理解・技能	- 漢字の読み書きができる。 - ことばのきまりがわかる。 - 文字を丁寧に正確に書くことができる。	- 定期テスト - 漢字や文法、語句等の小テスト - 書写の課題作品

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	- 意欲的に授業に取り組む。（持ち物、提出物、発言、話し合い、授業態度） - 一語、一文字にこだわって読み取るよう心がける。 - 話し合いの時間を活用し、多くの級友と意見を交流させ、深める。 - 全体に聞こえる声で意見を言ったり、教科書の音読をしたりする。 - ノートは板書を写すだけでなく、級友の意見や自分の感想・授業のポイントなどを書く。
家庭	- 漢字、文法等の言語の知識は、何度も繰り返し学習する。 - ノートを開き、その日の授業を復習する。ノートにまとめ直すと、なお良い。 - 教科書を何度も読み、ワークなど、さまざまな問題にあたる。 - 様々なジャンルの本や新聞のコラムを読む。そして、主題をまとめる。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
一学期	○詩「春に」 ○小説「握手」 ○書く「魅力的な紙面を作ろう」(修学旅行記) ○漢字1「熟語の読み方」 ○漢文「学んで時にこれを習ふ」 ○説明文「月の起源を探る」 ○情報「『想いのリレー』に加わろう」 ○言語「和語・漢語・外来語」 ○練習「評価しながら聞く」 ○話す・聞く「社会との関わりを伝えよう」 ○俳句・解説「俳句の可能性」「俳句を味わう」 ○言葉「言葉を選ぼう」 ○論説「『批評』の言葉をためる」 ○文法「すいかは幾つ必要？」 ○読書活動「読書生活を豊かに」 小説「高瀬舟」・未来の私にお薦めの本 情報コラム・読書案内	・情景や作者の思いを読み取り、味わえる。(読む) ・表現の特徴を生かしながら朗読できる。(読む) ・作者の思いに対する自分の考えを書ける。(書く) ・作品全体の構成を捉えられる。(読む) ・登場人物の置かれた状況や言動から、人物像を捉えられる。(読む) ・登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見が書ける。(書く) ・内容にふさわしい文章の形態を選び、紙面構成を工夫して書ける。(書く) ・さまざまな熟語の読み方について理解できる。(言語) ・漢文の言い回しに気をつけて音読し、内容を捉えられる。(読む) ・孔子の考え方を、自分たちの生活と関連づけて考えられる。(読む) ・自分たちの生活と比べて、孔子の考え方に学び、現代にも通じることについて書きまとめられる。(読む)(書く) ・説明の順序や、図と本文の対応を確かめながら読み、仮説や検証の内容を的確に捉えられる。(読む) ・科学的なものの見方、研究方法について、自分の考えを持ち、話し合えることができる。(読む)(話す・聞く) ・現代のメディアの特徴を知り、情報発信の意義と注意点を知ることができる。(読む) ・和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴を理解できる。(言語) ・友達の意見と自分の意見を比較しながら聞き取れる。(話す・聞く) ・体験したことを、目的に合った資料を使ってスピーチできる。(話す) ・発表内容を評価しながら聞くことができる。(聞く) ・俳句の特色を知り、表現の深さを味わえる。(読む) ・言葉を選び、表現を工夫して、俳句を創作することができる。(書く) ・場の状況や相手にふさわしい言葉を選び、説明できる。(書く) ・筆者の考えを基に、自分の考えを深める。(読む) ・文の成分や文節・連文節の係り受けなどの既習の文法について理解を深めることができる。(言語) ・読書生活を振り返り、今までの読書傾向を分析できる。(読む) ・分析したことをもとに、本の見つけ方・本の読み広げ方についてグループで話し合える。(話す・聞く) ・読書教材を読み、感想を交流することができる。(話す・聞く)

一学期	○詩「挨拶―原爆の写真によせて」 ○小説「故郷」 ○練習「推敲して文章を整える」 ○論説「新聞の社説を比較して読もう」 ○言葉2「慣用句・ことわざ・故事成語」 ○漢字2「漢字の造語力」 ○古文「古今和歌集 仮名序」 ○古文「君待つと」(万葉・古今・新古今) ○古文「夏草」(「おくのほそ道」から) ○古文・解説「古典を心のなかに」 ○論説文「作られた『物語』を超えて」 ○話す・聞く「話し合って提案をまとめよう」 ○書く「説得力のある文章を書こう」 ○詩「初恋」 ○読書に親しむ ノンフィクション「エルサルバドルの少女 ヘスース」 読書コラム 読書案内 ○書写(硬筆)	・ 比喩や象徴的な表現に着目し、作者の見方や考え方を捉える。(読む) ・ 詩の内容と現代社会の状況を重ね合わせて意見を発表し合い、考えを深めることができる。(読む)(話す・聞く) ・ 場面や登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。(読む) ・ 時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて自分の考えを持ち、表現できる。(読む)(書く) ・ 読みやすくわかりやすい文章にする観点を押さえ、課題文を推敲できる。(書く) ・ 二つの社説を読み比べ、その特徴や違いを挙げられる(読む) ・ 社説を参考にテーマに沿った適切な文章を書ける(書く)。 ・ 慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解できる。 (言語) ・ 漢字の造語力について理解して語彙を豊かにし、文章の中で使うことができる。(言語) ・ 音読み、古文の響きやリズムを読み味わうことができる。(読む) ・ 和歌に表れた昔の人の心情や情景を捉えることができる。(読む) ・ 効果的な表現や語句の使い方に着目して、和歌を味わえる。(読む) ・ 心に響いた和歌を選び、鑑賞文が書ける。(書く) ・ 表現や文体の特徴に着目して読み、現代語訳ができる。(読む) ・ 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えが持てる。(読む) ・ 暗唱ができる。(関心・意欲・態度) ・ 古典を読むことの意義は何かを読み取れる。(読む) ・ 筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉えられる。 (読む) ・ 筆者の主張を踏まえて、自分の考えを書くことができる。(書く) ・ 話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方や言葉遣いを工夫できる。(話す・聞く) ・ 論理の展開や表現を工夫し、説得力のある批評文が書ける。(書く) ・ リズムや文語表現を味わいながら音読できる。(読む) ・ 表現上の工夫を捉えられる(読む・言語) ・ 読書を通して世界の人々の姿を知り、生き方や社会の在り方について考えを深め、意見の交流ができる。(読む)(話す・聞く) ・ 配列を整え、行書に調和する仮名の書き方に気をつけて書ける。 (言語)
三学期	○論説「誰かの代わりに」 ○詩「わたしを束ねないで」 ○文法『『ない』の違いがわからない?』 ○漢字3「漢字のまとめ」 ○発表「三年間の歩みを振り返ろう」	・ 文章の論理展開のしかたを捉え、筆者の主張を理解できる(読む) ・ 筆者の主張を捉えた上で、自分の生き方について考え表現できる。 (読む)(書く) ・ 語句の効果的な使い方や表現の工夫に着目して読み、作者の思いを捉えることができる。(読む) ・ 既習の文法の知識を確かめ、理解を深めることができる。(言語) ・ 3年間の総まとめをし、漢字を適切に使うことができる。(言語) ・ 三年間の国語の学習から伝えたいことを決め、発表できる。 (話す・聞く)

大池中学校	3学年	社会
-------	-----	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	＜歴史的分野＞ (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。 (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。 (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。 (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。 ＜公民的分野＞ (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。 (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。 (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。 (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
使用教材	教科書：新しい社会 歴史 (東京書籍) 中学社会 公民的分野 (日本文教出版) 地図帳：中学校社会科地図 (帝国書院) 資料集：つながる歴史 (浜島書店) 公民の資料 最新版 (正進社) 問題集：社会の自主学習歴史2・3 (新学社) 公民の自主学習 (浜島書店)

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 社会的事象への関心・意欲・態度	＜歴史＞ 日本や世界の歴史的事象に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	- 学習態度 - 発言 - 授業のみとり - プリント・ワーク・ノートの提出

	<公民> 現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え、公民としての自覚をもって責任を果たそうとする。	- 授業の用意（忘れ物） - 夏休みの課題
②社会的な思考・判断・表現	<歴史> - 社会的な事象から課題を見つけ、その因果関係をとらえ、広い視野から公正に判断できる。 <公民> - 現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する。	- 発言 - プリント・ワーク・ノートの提出 - 定期テストや小テスト - 夏休みの課題
③資料活用 の技能	<歴史> - 各種資料に親しみ、効果的に活用するとともに、考察した結果をまとめることができる。 <公民> - 統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を図表化したり報告書などにまとめたり、発表や討論などを行ったりする。	- 発言 - 授業のみとり - 定期テストや小テスト - 夏休みの課題
④社会的事象 についての 知識・理解	<歴史> - 歴史的事象について理解し、その知識を正しく身につける。 <公民> - 現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身に付けている。	- 定期テスト - 単元テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	- 授業に必要なものを忘れずに準備しておこう。まずは「良い準備」を日ごろから意識しよう。 - チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しよう。 - 自分の意見を持ち、積極的に発表しよう。 - 先生の話や友達の意見をしっかり聞こう。 - 様々な資料（地図・図絵・表・グラフ・史料など）をじっくり読み、わかることを考えよう。 - 小グループでの話し合いや作業の時間を大切にしよう。 - わからないことは積極的に質問しよう。
家庭	- 学習した範囲を教科書やノート、プリントやワークブックでくり返し復習しよう。 - わかったことを自分のことばでノートにまとめよう。 - わからない用語は自分で教科書や資料集を使って調べよう。 - 毎日、ニュースや新聞をチェックするようにしよう。また、世の中の様々な出来事に関して、自分なりの意見を持てるようにしよう。 - 配付プリントを使って予習や復習を行おう。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
3 学 年 1 学 期	＜歴史的分野＞ 第5章「開国と近代日本の歩み」 第1節 欧米の進出と日本の開国 第2節 明治維新 第3節 日清・日露戦争と近代産業 第6章「二度の世界大戦と日本」 1節 第一次世界大戦と日本 2節 世界恐慌と日本の中国侵略 3節 第二次世界大戦と日本 第7章「現代日本と世界」 1節 戦後日本の発展と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界	①近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。 ②近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。 ③近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関する様々な資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。 ④・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の国際的地位が向上したことや近代産業の発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身に付けている。 ① 近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。 ② 近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関する様々な資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。 ③ 開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。日本の国際的地位が向上したことや近代産業の発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身に付けている。 ① 二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身につけている。 ② 日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。 ③ 表やグラフなどを用いて客観的な統計から当時の情勢を読み取っている。また写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。 ④ 二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。また当時の日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。 ① 個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付け地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つと努めている。 ② 戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期をとらえ、自分の意見を述べようと努めている。 ③ 表やグラフなど数量的資料を積極的に活用し、また多くの写真や実物資料を用いて、当時の生活を実感している。 ④ 終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解し、その知識を身に付けている。

3 学年 2 学期	＜公民的分野＞ 第1編 私たちと現代社会 第1章 私たちが生きる現代社会と文化 第1節 私たちが生きる現代社会の特色 第2節 現代社会の文化と私たち 第2章 現代社会をとらえる見方や考え方 第1節 現代社会をとらえる見方や考え方 第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 法に基づく政治と日本国憲法 第2節 日本国憲法と基本的人権 第3節 日本の平和主義 第2章 国民主権と日本の政治 第1節 民主政治と政治参加 第2節 くらしを支える地方自治 第3節 国の政治のしくみ	①・現代日本の社会にはどのような特色が見られるのか、どのような伝統や文化の影響を受けているのかについて意欲的に追究している。 ・少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色や、我が国の伝統と文化に対する関心が高まっている。 ② 現代日本の社会の特色である少子高齢化・情報化・グローバル化などが政治・経済・国際関係に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また我が国の伝統と文化の意義やそれらが現代社会に与えている影響や文化の継承と創造について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 写真や統計資料、聞き取り調査などの現代日本の社会の特色や我が国の伝統と文化に関する様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ④ 少子高齢化、情報化、グローバル化といった現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。 ① 様々な社会集団の一員として、家族、学校、地域の自治会、職場など様々な集団における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを守ることを意欲的に追究している。 ② 具体的事例を基に、物事の決定の仕方や、決定したことを守ることについてのどのような意味があるのかについて、対立と合意、効率と公正といった見方や考え方をを用いて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 物事の決定の仕方、きまりの意義に関する具体的な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④ 人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためにはきまりや取り決めが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。対立が生じた場合、互いの利益が得られるよう合意に至る努力がなされ、合意の妥当性を判断する際に効率と公正の概念が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ① 基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と、法や法に基づく政治に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。 ②・身近で具体的な事例を通して、日本国憲法に基づく政治によって国民の自由と権利が守られていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・人権思想の展開と日本国憲法との関連から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ① 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、国や地方公共団体の仕組みや考え方について意欲的に追究している。主権者であるという自覚を高め、主体的に政治に参画しようとする意欲を高めている。 ② 議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること、主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に追究している。民主政治と政治参加に関わる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的にその過程や結果を適切に表現している。
-----------	---	--

第4編 現代の国際社会

第1章 国際社会と人類の課題

第1節 国家と国際社会

第2節 地球環境への人類の取り組み

- ③ 財政の役割や国や地方公共団体の経済活動についての様々な情報手段を用いて収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題について、自分の将来と関わらせて考え、まとめ、説明している。
- ④ 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。
- ① 国際理解と国際協力に対して積極的に取り組む意欲を高めている。我が国のほか諸外国の国旗及び国歌を尊重する態度もっている。戦争や地域紛争を防止し世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育ち、人間の生命の尊さ、平和の尊さを考えようとしている。
- ② グローバル化してきた国際社会における我が国の役割、日本の国際貢献、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などに関わる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
- ③ 世界平和の実現と人類の福祉の増大に関わる国際社会の活動に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
- ④ 国際政治は国家間の対立の克服を試みるものであること、全ての国家の主権が相互に尊重されなければならないこと、地球環境、資源・エネルギー、貧困な課題に対しては、経済的、技術的な協力が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。

第5編 私たちの課題

- ① 持続可能な社会に対する関心を高め、それを形成するために解決すべき課題を意欲的に探究し、自分の考えをまとめようとしている。現在及び将来の人類がよりよい社会を築いていくためのに解決すべきこととして、課題を考え続けていく態度をもっている。
- ② 身近な地域の生活や我が国の取り組みとの関連性に着目し、持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだしている。解決すべき課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から手面的・多角的に考察している。科学的な探究の過程や思考過程を論理的に表現している。
- ③ レポート作成にあたり「探究のテーマ」、「テーマ設定の理由」、「探究の方法」、「探究の内容」、「探究のまとめ」、「参考資料」などの項目を設けて記述している。持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する様々な資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
- ④ 世代間の公平、地域間の公平、男女間の平等、社会的寛容、貧困削減、環境の保全と回復、天然資源の保全、校正で平和な社会などが、持続可能な社会の形成の基礎となることを理解し、その知識を身に付けている。探究の方法として、課題の設定、資料の収集と読み取り、考察とまとめといった手順を理解し、その知識を身に付けている。

大池中学校	3学年	数学
-------	-----	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を一層深めます。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を一層伸ばすとともに、二次方程式について理解し、式を能率的に活用できる能力を伸ばします。 (2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばします。 (3) 具体的な事象を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばします。 (4) 母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を伸ばします。
使用教材	教科書：未来へひろがる数学3（啓林館） 問題集：完成問題集（三泗中学校数学研究会） ベーシックマスター（新学社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 数学への関心・意欲・態度	様々な事象を数量や図形などととらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。	- 授業中の取り組みの様子 - 宿題や提出物、忘れ物 - ノートの記述 - 評価カードの記述 など
② 数学的な見方や考え方	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだしたり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	- 授業での発言、取り組み - 評価カードやノートの記述内容 - 定期テストや小テスト など
③ 数学的な技能	平方根を含む式の計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について簡潔に表現したり、関数関係を的確に表現したり、標本を抽出したりするなど、技能を身に付けている。	- 授業での発言、取り組み - 定期テストや小テスト など
④ 数量や図形などについての知識・理解	数の平方根の必要性和意味、式の変形の意味とはたらき、二次方程式、図形の相似の意味や円周角と中心角の関係の意味、三平方の定理の意味、関数 $y = ax^2$ の特徴、標本調査の必要性和意味などを理解し、知識を身に付けている。	- 授業での発言、取り組み - 定期テストや小テスト など

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	- チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 - 授業中は先生の話や友達の意見を集中して聞こう。 - 出された問題は、まずは自分の力で取り組んでみよう。わからなかったり、自信が持てなかったりしたら、友達や先生に必ず質問しよう。 - 疑問に思ったことや納得できなかったことは、授業の中で解決できるように質問しよう。 - グループでの活動には積極的に参加し、自分の意見を持ち、自信を深めるようにしよう。 - 完問・BMなどの提出物はていねいに取り組み、期限は必ず守ろう。
家庭	- 宿題は必ず家でするようにしよう。 - 授業で進んだ範囲をその日のうちにノートに復習しておきましょう。また、教科書を読んでおく等の予習をすると授業の理解度が高まります。 - テスト後はテストの反省をし、ノートに自分のミスやよく似た問題などを取り組み、次出題されたら必ず解けるようにしておこう。 - 完問やBMIは、提出日までに計画的に取り組もう。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
四月 五月	・長方形ひし形正方形 ・平行線と面積 [式の展開と因数分解] 1. 式の展開と因数分解 2. 式の計算の利用	①三角形や直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明することができる。平行線と面積の関係をもとに、ある図形と面積の等しい図形をつくることができる。 ②展開や因数分解を手際よくしようとしたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に取り組んでいる。 ③展開や因数分解の仕組みや法則を今までの知識を活用しながら見いだしたり、数量の関係や数の性質を予想し、文字式を使って考え、その過程を振り返ることができる。 ④簡単な式の展開や因数分解、素因数分解を手際よくできる。 ⑤式の展開の公式や因数分解の方法を説明できる。素数の性質を使って問題を解くことができる。
六月	[平方根] 1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算 3. 平方根の利用	① 様々な事象を数の平方根で捉えたり、それらの性質や関係を意欲的に見いだすことができる。 ② 数量や図形の性質等を平方根の知識を用いて考え、解くことができる。 ③ 数の平方根を含む簡単な式の計算ができる。 ④ 数の平方根の意味が説明できる。また、大小関係や平方根の値を求めることができる。
七月	[二次方程式] 1. 二次方程式 2. 二次方程式の利用	① 様々な事象を二次方程式で捉えたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ② 今までの知識を用いながら、二次方程式の解法を考えることができる。身近な事象を二次方程式を用いて解くことができる。 ③ 二次方程式をいろいろな方法でスムーズに解くことができる。 ④ 二次方程式の意味及びその解の意味などを理解し、用語を用いて説明することができる。
十月	[関数 $y = ax^2$] 1. 関数とグラフ 2. 関数 $y = ax^2$ の値の変化 3. いろいろな事象と関数	① 様々な事象を関数 $y = ax^2$ などとして捉えたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ② 関数 $y = ax^2$ の知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見いだすことができる。 ③ 関数 $y = ax^2$ の関係などを、表、式、グラフを用いて的確に表現することができる。 ④ 関数 $y = ax^2$ の表、式、グラフの関連などを理解し、用語を用いて説明することができる。
十一月	[図形と相似] 1. 図形と相似 2. 平行線と線分の比 3. 相似な図形の計量 4. 相似の利用	① 今までの知識と比べながら相似な図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、意欲的に問題の解決に活用して考えたり、判断したりしようとしている。 ② 相似な図形の性質の知識及び技能を活用しながら、法則を見いだしたり、論理的に証明したり、その過程を振り返って考えを深めることができる。 ③ 相似な図形の性質、三角形の相似条件などを、数学の用語や記号を用いて簡潔に表現することができる。 ④ 相似の意味、三角形の相似条件、平行線と線分の比についての性質、相似比と面積比及び体積比の関係を理解し、用語を用いて説明できる。
十二月	[円の性質] 1. 円周角と中心角 2. 円の性質の利用	① 円周角と中心角の関係を平面図形の基本的な性質や関係から見いだしたり、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり、判断したりしようとしている。 ② 円周角と中心角の関係を知識や図形の性質をもとに仮定から結論を導くことができる。 ③ 円周角や中心角の大きさを求めることができる。 ④ 円周角と中心角の関係の意味を理解し、用語を用いて説明することができる。
一月	[三平方の定理] 1. 三平方の定理 2. 三平方の定理の利用	① 三平方の定理を用いて数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり、判断したりしようとしている。 ② 平方の定理を活用しながら、平面や立体図形の問題を考え、解くことができる。 ③ 直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ④ 平方の定理の意味を理解し、用語を用いて説明することができる。
二月	[標本調査] 1. 標本調査	①様々な事象について、母集団から標本を抽出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を推定しようとするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 ②標本調査の知識及び技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見だし、わかりやすく説明することができる。 ③母集団から標本を取り出すことができ、そこから全体を推測することができる。 ④標本調査の必要性和意味などを理解し、用語を用いて説明することができる。

大池中学校	3学年	理科
-------	-----	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	理科の目標 ①自然の事物や現象に対して関心を持ちましょう。 ②目的意識をもって観察や実験を行い、科学的に調べる能力を身につけましょう。 ③自然の事象や現象について理解を深めましょう。 ④科学的な見方や考え方を身につけましょう。 理科学習のねらいは自然の事物や現象に関心を持ち、その中から問題を見つけ、探求活動を通して、「自分の力で解決する力」を持つようになることです。観察や実験の結果から考察したり、グラフや表で表現したりし、科学的に結論を導き出す力を身につけることです。
使用教材	教科書：未来へ広がるサイエンス3（啓林館） 補助教材：マイノート（啓林館） 学習整理 理科3（学宝社） 理科ノート（新学社） 理科便覧（浜島図書）

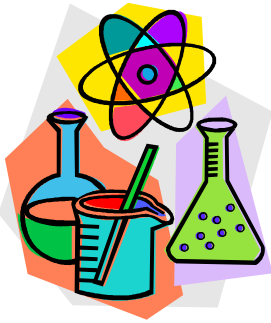
2. 評価観点および方法

評価の観点		評価の方法
観点① 自然事象への 関心・意欲・ 態度	自然に対して関心を持ち、意欲的に探求するとともに、それらを生活との関わりでみようとする。	○発表 ○ノート ○実験レポート ○宿題や提出物 ○定期テスト ○課題研究 ○観察・実験への取り組み方
観点② 科学的な思考・表現	自然の中に問題を見出し、目的意識を持って、観察や実験を行い、論理的、分析的、総合的に考えて問題を解決し、表現する。	○実験レポート ○ノート ○課題研究、自由研究 ○定期テスト ○小テスト ○発表
観点③ 観察・実験の 技能	観察や実験の基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然を科学的に探求する方法を身につけている。	○パフォーマンステスト ○観察、実験レポート ○小テスト ○観察・実験での活動の様子 ○定期テスト ○実験の準備物
観点④ 自然事象 についての 知識・理解	自然についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	○定期テスト ○小テスト ○単元テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

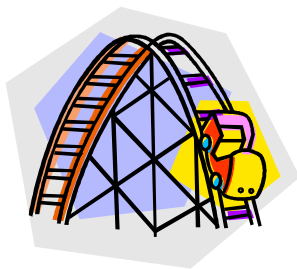
学習方法	学校	○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。 ○授業中は先生の話だけでなく、友達の意見も集中して聞こう。 ○グループ活動には積極的に参加し、自分の考えと友達の意見から理解を深めるようにしよう。 ○計画的にワークなどの提出物に取り組み、提出期限は必ず守れるようにしよう。 ○授業ノートや観察・実験データは自分が理解できるように丁寧に記入しよう。 ○身のまわりの自然や事物・現象を不思議だなという目で見て、疑問や問題を持って、単元にのぞもう。 ○学習した内容と身のまわりの自然や事物・現象と関連させて考えてみよう。 ○観察や実験の結果からわかったことを自分の言葉でまとめてみよう。
	家庭	○宿題は必ず家でするようにしよう。 ○進んだ範囲の内容をワーク「学習整理」によって、復習しよう。 ○わからない問題は、すぐにあきらめずによく考えよう。考えてもわからないものは、理解できるまで、解答や解説をしっかりと読もう。それでもわからないときは、友達や先生に必ず質問をしよう。 ○テストや問題集で間違えてしまった問題は、次出題されたら必ず解けるようにしっかりと理解をしておく。また、なぜ間違えてしまったのかも考えよう。 ○ワークなどの提出物は、提出期限は必ず守れるようにしよう。 ○興味、関心を持った事象について、自ら調べてみよう。

4. 学習計画

各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例 ①②③④は観点の番号
《生命》 生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方 2章 遺伝の規則性と遺伝子 	①細胞分裂のしくみに興味をもち、多くの分裂像を観察しようとする。 ①生物のふえ方に関心をもち、意欲的に調べてみようとする。 ②写真資料をもとに根の成長と細胞の変化について考察することができる。 ②いろいろな分裂像から細胞分裂の連続的なつながりを指摘することができる。 ③プレパラートをつくり、いろいろな分裂像を見つけ出し、正確にスケッチすることができる。 ④細胞が分裂するときの染色体のふるまいについて理解し、知識を身につけている。 ①いろいろな親子に興味をもち、調べてみようとする。 ①遺伝の現象やしくみに興味をもち、意欲的に調べようとする。 ①生殖・発生や遺伝の現象に感動し、生命に対する畏敬の念をもつ。 ②有性生殖と無性生殖の違いについて説明することができる。 ②遺伝子と生殖細胞を用いて、分離の法則を説明することができる。 ④動物の受精と発生の過程について理解し、知識を身につけている。 ④減数分裂と体細胞分裂の違い、有性生殖と無性生殖の子の形質の違いを理解し、知識を身につけている。 ④メンデルの実験方法とその結果を説明することができる。 ④現在の遺伝子やDNAに関する研究成果の利用を例をあげて説明することができる。 ①食物連鎖など、生物のつながりについて関心をもち、調べようとする。 ②実験結果から、土の中の微生物のはたらきを考察できる。 ②自然界の炭素などの物質の移動を、呼吸や光合成、食物連鎖などと関連づけて捉えることができる。 ②調査で得られた結果を図や表にまとめるとともに、結果に基づいた考察ができる。 ③対照実験の意味を理解しながら、実験を行うことができる。 ④食物連鎖における生物のつながりについて理解し、知識を身につけている。 ④落ち葉を出発点とした食物連鎖について理解し、知識を身につけている。
《物質》 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 酸・アルカリと塩 1学期 	①水溶液が電流を通すかどうかに関心を示し、どのような水溶液が電流を通すか進んで調べようとする。 ①電気分解の実験に興味をもち、電極で見られる変化のしくみを進んで調べようとする。 ①電池の実験に興味をもち、進んで電池におけるエネルギー変換を考えようとしている。 ②実験の結果から、水溶液は電流を通すもの通さないものがあることを区別し、説明することができる。 ②実験結果から、塩酸中では、塩素原子は電気を帯びた粒子になっていることを推論し、説明している。 ②電池のしくみを、イオンのモデルを使って考察し、説明できる。 ③いろいろな水溶液が電流を通すかどうか調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 ③塩酸に電流を通し、電極付近で発生する気体が何であるか調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 ③電池が化学エネルギーを電気エネルギーに変換していることを調べる実験を正しく安全に行うことができる。 ④塩酸や塩化銅水溶液に電流を通したとき、電極に生じる物質が何であるか理解している。 ④原子がどのようにして陽イオンや陰イオンになるか理解している。 ④イオン式のかき方がわかり、代表的なイオンをイオン式で表わしている。 ④電池のしくみを、電極の変化を中心に説明することができる。 ①身のまわりの酸性やアルカリ性の水溶液に共通の性質があることに興味をもち、その性質のもとを調べようとしている。 ①酸と金属の反応で水素が発生することに興味をもち、進んでその理由を考えようとする。 ①酸とアルカリの反応に興味をもち、進んでその変化を調べようとする。 ②実験結果から、酸性の水溶液の共通した性質のもととは水素イオンでアルカリ性の水溶液の共通した性質のもととは水酸化物イオンであることを考察し、説明できる。 ②中和の様子を、イオンのモデルを使って考察し、説明できる。 ③酸性やアルカリ性の水溶液に共通した性質を調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 ③こまごめビペットの使い方に慣れ、中和によって塩ができることを調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 ④酸性やアルカリ性の水溶液の共通した性質のもとが、水素イオンと水酸化物イオンであることについて理解している。 ④酸と金属の反応で水素が発生する理由を理解している。 ④中和により塩と水ができることについて理解している。 ④中和が身のまわりの生活に使われていることを知っている。

《エネルギー》
運動とエネルギー

- 1 章 力のつり合い
2 章 物体の運動
3 章 仕事とエネルギー
4 章 多様なエネルギーとその移り変わり
5 章 エネルギー資源とその利用



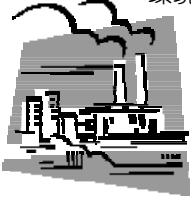
- ① 1つの物体にいくつかの力がはたらく場合に興味をもち、全体でどのようなのか調べようとする。
② つり合っている2力の1つがわかっているとき、もう1つの力を見いだすことができる。
② 斜面上の物体にはたらく重力を、斜面に垂直な方向と水平な方向に分解して考察することができる。
③ つり合っている2力を調べる実験を行い、結果を力の矢印で記録することができる。
④ 2力のつり合いについて理解し、知識を身につけている。
④ 合力の意味を理解し、一直線上ではたらく2力の合力を求めることができる。
④ 分力の意味を理解し、分力を作図によって求めることができる。
① 記録タイマーによる物体の運動の調べ方に興味をもち、進んで調べようとする。
② 記録されたテープから物体の運動の様子を考察することができる。
③ 記録タイマーを的確に操作し、物体の運動の記録を取ることができる。
③ 斜面を下りる台車の運動を調べる実験を正確に行うことができる。
④ 運動の向きに力がはたらき続けるときの物体の運動について理解し、知識を身につけている。
④ 物体には同じ運動状態を続けようとする性質(慣性)があることを理解し、知識を身につけている。
① 道具を使うと仕事の量が小さくてすむかどうかに関心をもち、具体的な場合について調べようとする。
① 仕事の量だけでなく、仕事の能率も実生活ではきわめて大切なことを実感する。
② 重力に逆らってする仕事の量は、物体の重さと持ち上げた高さとの積であることを見いだすことができる。
② 動滑車・斜面・てこの実験結果を総合し一般化して、道具を使っても使わなくても仕事の量は変わらないこと(仕事の原理)を見いだすことができる。
③ 動滑車を使う場合と使わない場合について、糸を引く力の大きさと糸を引く距離を測定・記録し、仕事の量を求めることができる。
③ 位置エネルギーの大きさと高さや質量との関係を正しくグラフに表すことができる。
④ 物体を押しても動かない場合、仕事をしたことにならないことを理解している。
④ 動滑車を使っても使わなくても、仕事の量は変わらないことを理解している。
④ 仕事率の意味を理解し、知識を身につけている。
④ 位置エネルギーが何に関係するかを理解し、知識を身につけている。
④ 力学的エネルギーは一定に保たれることを理解し、知識を身につけている。

《地球》
地球と宇宙

- 1 章 太陽と恒星の動き
2 章 月と金星の動きと見え方
3 章 地球とその外側の世界



- ① 季節によって見られる星座が異なることに興味をもち、その原因を調べてみようとする。
① 季節による太陽高度の変化や気温の変化に興味をもち、資料などによって調べてみようとする。
② 太陽の1日の動きが、地球の自転によって起こる見かけの動きであることを捉えることができる。
② 日周運動と年周運動の違いを捉えることができる。
② 地軸の傾きによって、季節による太陽高度の変化や昼夜の長さの変化が起こることを捉えることができる。
③ 透明半球を用いた太陽の1日の動きの観測を行うことができる。
③ 星の1日の動きを記録することができる。
④ 地球は太陽の光を受けることによって昼と夜が存在すること、地球の自転によって昼と夜の部分は移っていくことを理解する。
④ 星の日周運動を、太陽の日周運動と同じ地球の自転による見かけの運動として理解する。
④ 季節による気温の変化を、太陽高度や昼間の長さの変化と関連づけて理解する。
① 太陽系の天体について興味をもち、資料などを用いて調べたり、発表しようとする。
① 金星が真夜中に見えないことに興味をもち、その原因を調べようとする。
② 金星が星座の星の間を動いていくように見えるのは、地球と金星の公転周期の違いによって起こることを捉えることができる。
② 地球から見える月の形や位置の変化を、月の公転と関連づけて捉えることができる。
③ 同じ時刻に見た月の形と位置の変化を調べることができる。
④ 日食・月食の現象を理解し、太陽・月・地球の位置関係によって起こることを理解する。
④ 太陽系、銀河系、銀河の構造について理解し、知識を身につけている。

3 学 期	《環境》 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 人間と環境 3章 自然が人間の生活に およぼす影響 4章 科学技術と人間 5章 科学技術の利用と 環境保全 	①人間の生活が自然環境に及ぼす影響について考え、調べようとする。 ①様々な環境問題について、関心を持って考えようとする。 ②調査で得られた結果を図や表にまとめるとともに、結果に基づいた考察ができる。 ②地球規模でのさまざまな環境問題を理解し、自然界のつり合いを保つ必要性を考えることができる。 ③地域の自然についての確な情報を収集し、結果をわかりやすく整理する。 ④様々な環境問題について理解し、知識を身につけている。 ①生物が生きる地球の環境に関心をもって調べようとする。 ②自然からの恩恵と災害について正しく考えることができる。 ②防災対策のポイントを考えることができる。 ③地域の自然についての確な情報を収集し、結果をわかりやすく整理する。 ③ハザードマップを正しく読み取り、災害への対応を考えることができる。 ④気象災害や防災、水資源の恵みについて、正しく理解する。 ①科学技術がわたしたちの生活にもたらした利便性や豊かさに関心をもち、進んで調べようとする。 ④新しい科学技術にはどのようなものがあるか理解し、知識を身につけている。
-------------	---	---

大池中学校	3学年	音楽
-------	-----	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 ○多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
使用教材	教科書：中学生の音楽2・3上、下（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集「MY SONG」（教育芸術社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 音楽への関心・意欲態度	- 遅刻や忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 - 正しい姿勢で集中して教師の指示やアドバイスを聞き、その内容を書きとめている。 - パート練習の工夫をし、上達するために意欲的に取り組んでいる。 - クラスの合唱をよりよくするために話し合いながら練習に取り組んでいる。 - 楽器や演奏の形態に興味を持って鑑賞している。	- 準備物の状況 - 課題への取り組み - 毎回の授業の態度、姿勢 - 授業中の発言内容 - 実技テスト - 定期テスト、歌詞テスト - 楽譜への書き込み記入 - 鑑賞中の態度
② 音楽表現の創意工夫	- 響きのある声、豊かな声量で歌唱している。 - 曲に合った表現を工夫している。 - 曲に合ったブレス、アーティキュレーション等を工夫している。 - 他の声部を聴きながら曲想を工夫して歌っている。	- 課題への取り組み - パート練習、全体練習への取り組み - 歌唱の発声の仕方、声の響き、曲想の工夫、ブレス、アーティキュレーション - 実技テスト、定期テスト
③ 音楽表現の技能	- 歌唱の際の音程が正確である。 - 正しい姿勢、響きのある発声、豊かな声量で歌っている。 - 歌唱の際の表情が豊かである。 - 音楽記号の意味を理解し、楽譜通り表現している。 - 楽曲に合った表現を工夫することができる。	- パート練習、全体練習での様子（発声、音程、リズム、表現） - 表情、表現の豊かさ - 実技テスト
④ 鑑賞の能力	- 範唱や中間の演奏を熱心に聴くことができる。 - 鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができる。 - 楽曲の特徴や作曲者について理解している。 - 作曲者の活躍した時代の背景となる文化や歴史を理解して鑑賞している。 - 日本の伝統音楽に親しむことができる。	- 鑑賞中の態度 - 鑑賞の記録 - 定期テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	- チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、着席してすぐに授業に取り組める準備をしよう。 - パート練習や全体練習に意欲的に取り組もう。 - 互いの声を聴きあい、ハーモニーを感じながら合唱しよう。 - 曲に合った表現ができるようにきちんと楽譜を見て演奏しよう。 - 授業中、楽曲の演奏に関してのアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。 - 記号や語句についての説明は、きちんとメモを取り、その場で覚えていこう。 - 鑑賞曲については、文化や歴史とかかわらせて聴くようにしよう。
家庭	- 授業で学習した楽曲の、旋律や歌詞を確認し、暗譜で歌えるようにしよう。 - 授業で学習した楽曲、音楽記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
6月	日本の歌 「花」 ・ 日本語の美しさ ・ 表現の工夫 ・ 2重唱のハーモニー ・ 休符の役割	《全学期共通》 ① ・ 遅刻、忘れ物をせず、毎回の授業に意欲的に取り組むことができる。 ・ 正しい姿勢で練習に取り組むことができる。 ・ 授業中に意欲的に発言することができる。 ・ 実技テスト、定期テスト、歌詞テスト等に意欲的に取り組むことができる。 ・ 授業で指示したことを楽譜に記入している。 ・ 楽器や演奏形態に興味を持って鑑賞することができる。 ・ 課題に意欲的に取り組んでいる。
7月	鑑賞 交響詩「ブルタバ」 ・ 交響詩について ・ オーケストラと楽器 ・ 時代背景と国民楽派の音楽	
9月	鑑賞 組曲「展覧会の絵」 ・ プレゼンテーション	② ・ 響きのあるやわらかい声で歌うことができる。 ・ 曲に合った表現を工夫して歌うことができる。 ・ 歌詞の意味を考え、言葉を大切に歌うことができる。 ・ 他の声部を聴きながら歌うことができる。
9月 ～	「混声3部（4部）合唱」の取り組み	・ 適切な場所でプレスをし、アーティキュレーションを工夫して表現することができる。 ・ 課題のポイントをきちんと理解して取り組むことができる。
11月	・ 響きのある発声 ・ 歌詞に合った表現の工夫 ・ 歌詞と旋律のかかわり ・ 曲想の変化 ・ ハーモニーの美しさ	③ ・ 正しい姿勢で演奏することができる。 ・ 正しい音程やリズムで楽譜通りに、演奏することができる。 ・ アクセントやリズム、音楽記号、曲想を理解して演奏に活かすことができる。 ・ 響きのある声、ゆたかな声量で歌うことができる。
11月	鑑賞 雅楽「越天楽」 ・ 日本の伝統音楽について ・ 和楽器について	
12月 ～	卒業式式歌の取り組み 混声3部合唱「あなたへ」 ・ 響きのある発声 ・ 歌詞に合った表現の工夫 ・ 歌詞と旋律のかかわり ・ 曲想の変化 ・ ハーモニーの美しさ 「国歌」 「校歌」	④ ・ 集中して鑑賞することができる。 ・ 鑑賞曲を聴いて、感じたことを自分の言葉で表現することができる。 ・ 鑑賞曲を聴いて作曲者の意図や心情を感じ取ることができる。 ・ 曲のイメージをふくらませて聴くことができる。 ・ 楽曲の構成や作曲家についての詳細、歴史的背景や文化を理解することができる。 ・ 雅楽の鑑賞を通して、日本の伝統音楽に親しむことができる。 ・ 仲間の演奏を聴いて良いところを探すことができる。

大 池 中 学 校	3 学 年	美 術
-----------	-------	-----

1 学習のねらい

学習のねらい	○ 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 ○ 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。 ○ 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
使用教材	教科書：日本文教出版「美術2・3上下」 美術資料 イラストボード、篆刻用の石、ケント紙、鉛筆セット、色鉛筆、

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
美 術 へ の 関 心・意欲・態度	「美術的な活動に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている」 ・楽しく生き生きと表現しようとしている。 ・向上しようとして創意工夫し努力しようとしている。 ・鑑賞することを楽しんでいる。	【授業中の発言、態度】【資料の収集、提出物】 【活動状況】【振り返りシート】【定期テスト】 ・自分から積極的に、かつ粘り強く学習に取り組もうとしている。 ・期限内にきちんと仕上げて提出ができる。 ・準備物や用具の取り扱い、片付けができる。
発 想 や 構 想 の 能 力	「感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどをもとに、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」 ・自分らしく生き生きとした表現の構想を練っている。	【作品制作の下絵（アイデアスケッチ）など】 【デッサンの構図】【途中作品や完成作品】 ・自分のイメージをさまざまな角度から考えることができる。 ・イメージしたものを表現することができる。
創 造 的 な 技 能	「表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表すことができる」 ・美しく創造的に表現している。	【制作過程の中での材料や用具の使い方】 【途中作品や完成作品】【定期テスト】 ・さまざまな表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができる。 ・材料や用具の特性を生かし、表現することができる。
鑑 賞 の 能 力	「作品に親しみ、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じとったり味わったり、理解したりできる」 ・いろいろな見方や感じ方や発想の仕方、知識等を学びとり、多様な表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り味わっている。	【授業中の発言、発表】 【感想文】【振り返りシート】【定期テスト】 ・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとることができる。 ・作者の思いや意図を感じとることができる。 ・自他の作品の良いところを見つけ、自分の作品制作に活かすことができる。

3 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学 校	・授業中、先生の話をよく聞いて作品づくりに取り組もう。 ・しゃべりながら制作しない。（制作する姿勢が作品に表れます。本当によい作品は真剣な制作態度から生まれます。じっくりと集中し落ち着いて取り組もう） ・美術の教科書や資料集などで興味のある作家や作品を見つけよう。 ・普段から、ものをよく見ること。（見ることから美術は始まります） ・準備、かたづけを時間内にきちんと行い、制作時間を確保しよう。 ・期限内に作品を完成させ、提出物は期日を守ろう。
	家 庭	・作品のヒントになる資料を集めよう。 ・忘れ物のないように準備物をきちんと用意しておこう。 ・テスト前はプリントや参考資料を活用し、デッサンの練習をおこう。 ・家庭学習を行い、テスト対策をしておこう。 ・美術館へ行ったりして、本物の作品を見て感性をみがいておこう。

4 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	オリエンテーション ・美術の授業に対する心構えと授業のルール。 ＜規律ある態度・約束や決まりを守る＞ ◇体育館シューズのデッサン ◇絵画 自画像～自己をみつめて～	①制作活動への興味・関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢を身につけようとしている。 自画像制作の準備・練習 ① 自分自身を素直に見つめ、テーマを決めることができる。 ② 画面の中に、バランスよく描くことができる。 ②③図法や構成を意識し、効果的な画面作りができる。 ③ 顔をよく観察し、特徴をとらえて描くことができる。 ③ イメージに合った色を画材の特性を活かしながら着色できる。 ③ 重ね塗りやグラデーションなどのテクニックを効果的に使い、作品作りができる。
2 学 期	◇鑑賞 ◇デザイン・工芸 篆刻	④ クラスメイトの作品を鑑賞し、それぞれの発想や構想の良さ、表現の工夫を味わうとともに、作者の思いを感じとることができる。 ① アイデアスケッチを元に意欲的に取り組もうとしている。 ② 文字の特性を活かして、楽しく効果的なデザインを発想することができる。 ③ 作業の手順、方法を理解し、基本的技術を習得し、安全に作業を進めることができる。 ③ 最後まで根気強く丁寧に制作に取り組むことができる。
3 学 期	◇鑑賞	④ クラスメイトの作品を鑑賞し、それぞれの発想や構想の良さ、表現の工夫を味わうとともに、作者の思いを感じとることができる。 ④ 作品のよさを共有し、コミュニケーション力を高めることができる。

大池中学校	3年男子	保健体育
-------	------	------

1. 学習のねらい

ねらい	○健全な『からだ（身体）』と『こころ（精神）』を培う。 ○技能・体力の向上をはかり、運動を行うためのルール・知識を身につける。 ○自ら学び、まわりとつながり、ともに学びあう態度を養う。 ○自他の健康・安全に留意し、生活する習慣を身につける。 ○運動に親しみ、生涯スポーツを通して、豊かな生活をおくる態度を身につける。
使用教材	教科書： 新しい保健体育（東京書籍） 補助教材： ステップアップ中学体育（大修館）・学習ノート（中学保健体育ノート 大修館）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
○関心・意欲・態度	・自らすすんで運動の楽しさや喜びを得ようとする。 ・心身の健康や安全に関心をもち、健康で安全な生活を実現するため、すすんで学習に取り組もうとする。	①約束やきまりを守る（服装・忘れ物・遅刻・見学・欠席） ②前向きな姿勢で取り組める ③準備や後片付けをすすんで行なう ④毎回の取り組み・課題（ウォーミングアップ、補強運動など）をしっかりとできる
○思考・判断	・運動の特性に応じて、能力に応じた課題解決をめざし、考え工夫している。 ・心身の健康や安全に関する課題解決をめざし、適切に判断し、行動している。	⑤自分で考え、ふりかえり、次に活かすことができる ⑥自己評価がきちんとできる（学習カード） ⑦健康・安全に対する配慮ができる
○運動の技能	・能力に応じた課題解決をめざし、運動を行い、技能を身につけている。 ・体力を高めるために運動の合理的な行い方を身につけている。	⑧実技テスト ⑨技能の伸長 ⑩授業のようす（授業を通しての技能レベル）
○知識・理解	・運動の特性と学習方法に関する知識を理解し、身につけている ・健康・安全に関する知識を理解し、身につけている。	⑪定期テストの正答率 ⑫授業中の学習内容の理解（ルール、ポイントなど）ができている。

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	①ベル席をきちんと守ろう。チャイムと同時にアップを始めよう。 ②服装を整え、準備運動にきちんと取り組もう。 ③姿勢よく話を聞けるようにしよう。 ④準備や後片付けにすすんで取り組もう。 ⑤学習（練習）に自分からすすんで取り組もう。
家庭	①自分の体力向上のために、自宅のできるトレーニングをやってみよう。 ②健康なからだを保つために栄養・睡眠を十分確保しよう。 ③運動に関する興味・関心・意欲向上のため、日頃から様々なスポーツに関する情報に目や耳を傾けよう。

4. 学習計画

	単 元	主な学習内容と観点別評価の具体例
1学期	(1) 体づくり運動① (2) 陸上競技 (3) ソフトボール①	(1) 準備運動、集団行動の意義を理解し、毎回の活動がきちんとできる (2) 各種目（ハードル、高跳び、幅跳び、ハンドボール投げ）の記録、技能 (3) フィールディング・バッティングの技能、ゲーム中の技能
2学期	(4) 体づくり運動② (5) ソフトボール (6) バレーボール バスケットボール (7) 持久走	(4) 体育祭の練習、リレー 基本的な技能の習得と意欲的にできる (5) フィールディング・バッティングの技能、ゲーム中の技能 (6) パスの技能、ゲーム中の技能 シュートの技能、ゲーム中の技能 (7) 3000mの記録
3学期	(8) サッカー	(7) ドリブル・パス・シュートの発展的な技能、ゲーム中の技能
年間	【体育理論】(1)～(7) 【保健分野】(8) 健康な生活と病気の予防	体育理論は上記(1)～(7)の単元の中で年間を通して学習する。 (8) 健康な生活と病気の予防についての内容を理解できている。（各学期末テスト）

大池中学校	3年女子	保健体育
-------	------	------

1. 学習のねらい

ねらい	○健全な『からだ（身体）』と『こころ（精神）』を培う。 ○技能・体力の向上をはかり、運動を行うためのルール・知識を身につける。 ○自ら学び、まわりとつながり、ともに学びあう態度を養う。 ○自他の健康・安全に留意し、生活する習慣を身につける。 ○運動に親しみ、生涯スポーツを通して、豊かな生活をおくる態度を身につける。
使用教材	教科書： 新しい保健体育（東京書籍） 補助教材： ステップアップ中学体育（大修館）・学習ノート（中学保健体育ノート 大修館）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
○関心・意欲・態度	・自らすすんで運動の楽しさや喜びを得ようとする。 ・心身の健康や安全に関心をもち、健康で安全な生活を実現するため、すすんで学習に取り組もうとする。	①約束やきまりを守る（服装・忘れ物・遅刻・見学・欠席） ②毎回の取り組み・課題（ウォーミングアップ、補強運動など）をしっかりとできる ③準備や後片付けをすすんで行なう ④自ら進んで学習に取り組む、積極的に仲間へのアドバイスができる
○思考・判断	・運動の特性に応じて、能力に応じた課題解決をめざし、考え工夫している。 ・心身の健康や安全に関する課題解決をめざし、適切に判断し、行動している。	⑤自分で目標をもって学習し、成果や課題をふりかえり、次に活かすことができる ⑥自分やチームの課題を見つけ、話し合いや練習を重ねて課題をクリアしようとする ⑦健康・安全に対する配慮ができる
○運動の技能	・能力に応じた課題解決をめざし、運動を行い、技能を身につけている。 ・体力を高めるために運動の合理的な行い方を身につけている。	⑧実技テスト ⑨技能の伸長 ⑩授業のようす
○知識・理解	・運動の特性と学習方法に関する知識を理解し、身につけている ・健康・安全に関する知識を理解し、身につけている。	⑪定期テストの正答率 ⑫授業中の学習内容（ルール、運動の行い方、保健の授業の内容など）を理解し、活用しようとする

3. 学習方法についてのアドバイス

学校	①ベル席をきちんと守ろう。チャイムと同時にアップを始めよう。 ②服装を整え、準備運動にきちんと取り組もう。 ③姿勢よく話を聞けるようにしよう。 ④準備や後片付けにすすんで取り組もう。 ⑤学習（練習）に自分からすすんで取り組もう。
家庭	①自分の体力向上のために、自宅のできるトレーニングをやってみよう。 ②健康なからだを保つために栄養・睡眠を十分確保しよう。 ③運動に関する興味・関心・意欲向上のため、日頃から様々なスポーツに関する情報に目や耳を傾けよう。

4. 学習計画

	単 元	主な学習内容と観点別評価の具体例
1学期	(1) 体づくり運動① (2) 陸上競技 (3) バレーボール① バスケットボール①	(1) 準備運動、集団行動の意義を理解し、毎回の活動がきちんとできる (2) ハードル走、走り高跳び、走り幅跳び等の記録、技能 (3) パスの技能、ゲーム中の技能 シュートの技能、ゲーム中の技能
2学期	(4) 体づくり運動② (5) バレーボール② バスケットボール② (6) サッカー (7) 長距離走	(4) 体育祭の練習 基本的な技能の習得と意欲的にできる (5) バレーボールの発展的な技能、ゲーム中での技能 バスケットボールの発展的な技能、ゲーム中での技能 (6) 基本的なドリブル・パス・シュートの技能、ゲーム中での技能 (7) 2000mの記録
3学期	(8) バドミントン・卓球 (9) ダンス	(8) バドミントン・卓球の基本的な技能の習得 (9) 体を大きく使って表現することができる
年間	【体育理論】(1)～(7) 【保健分野】(8) 健康な生活と病気の予防	体育理論は上記(1)～(7)の単元の中で年間を通して学習する。 (8) 健康な生活と病気の予防についての内容を理解できている。(各学期末テスト)

大池中学校	3学年	技術
-------	-----	----

1 学習のねらい

学習のねらい	○ものづくり等に関する基礎的知識と技術を習得する。 ○コンピュータやソフトウェアの利用方法を知り、情報の処理ができるようになる。 ○プログラムによる計測・制御ができるようになる。
使用教材	教科書：教科書(東京書籍)

2 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	- 生活や産業の中で用いられている技術に関心を持ち、技術が果たしている役割を考えようとしているか。 - 材料の種類やその特徴と使用法を知り、製作品の目的にあわせた材料を選択しようとしているか。 - 身の回りの生活を向上させるための製作品を構想することに関心を持ち、製作するために必要なことを図で表現しようとしているか。 - 加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用しようとしているか。	- 授業中の様子（準備物、態度、動作、発言、質問、意見など） - ノートやプリント等の提出物 - 仲間への声かけの様子 - 材料を加工する様子
②生活を工夫し想像する能力	- 技術と社会や環境とのかかわりについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して多様な方法を工夫したり創造したりして、技術について評価し活用する能力が備わっているか。 - 自らの工夫によって目的に応じ、適切な製作計画と材料を選び、ものを製作しているか。	- 授業中の様子（動作、発言、作業内容など） - ノートやプリント等の提出物 - 仲間への声かけの様子 - 製作図や記述内容 - 製作したもの（材料を加工する様子も含む） - 定期テスト
③生活の技能	- 様々な状況に応じて、いろいろな道具を使いこなし、製作の見通しを立てながら正確に製作ができているか。 - 技術を活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけているか。	- 授業中の様子（動作、発言、作業内容など） - ノートやプリント等の提出物 - 製作図や記述内容 - 製作したもの（材料を加工する様子も含む） - 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	- 技術が果たしている役割に関する知識を身につけ、技術のあり方について理解しているか。 - 製作品の構想の表示方法に関する知識を身につけ、設計時に必要な材料の性質や機能及び構造について理解しているか。 - 加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みについて理解し、様々な状況に応じて必要なものを作り出せる知識や理解を身につけているか。	- 授業中の様子（動作、発言、作業内容など） - ノートやプリント等の提出物 - 仲間への声かけの様子 - 製作したもの（材料を加工する様子も含む） - 定期テスト

3 学習方法についてのアドバイス

学校	・ベル席を心がけ、授業に集中しよう。 ・理論学習の授業中は挙手に努め、積極的に授業に参加するとともに、ノートにしっかり記入しよう。 ・提出物はきちんと出そう。 ・指示を良く聞き、道具や機械を適切に使用し、積極的に作業に取り組もう。 ・お互い声を掛け合いながら、うまくいったことを共有したり困ったことをともに考え解決したりしていくなどして、グループで協力しながら作業を進めよう。
家庭	・キャビネット図や等角図などでいろいろな図形をかくて、その使い方になれておこう。 ・身の回りにある道具や機械、製品に興味を持って、工夫されているところなど積極的に調べてみよう。 ・その日の内に学習した内容を、ノートで復習しておきましょう。

4 学習計画

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3年1学期	○生物の育成 ○コンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得 ○計測・制御の仕組み ・身の回りにある機器について自動化のしくみを考えよう。 ○生活とものづくりの技術 ・生活を支える技術について考えよう。 ・工夫することのすばらしさを知ろう。 ○材料の特徴と加工法 ・様々な材料の特徴を調べ、まとめよう。 ・様々な材料の加工法を調べよう。	・豆苗を育成し、結果をまとめよう。【関・技・工】 ・積極的に発言する。【関】 ・ノートをきちんとまとめる。【関・知】 ・積極的に意見を出し、考えをまとめたり、発表したりする。【関】 ・計測・制御のしくみについて理解し、実際にプログラムを考え、実行する。【工・技・知】 ・材料の特徴などを理解する。【知】 ・材料の加工法を知る。【知】
3年2学期	○設計 ・設計の進め方を知ろう。 ・機能や構造、加工法を知ろう。 ・製図のきまりを知ろう。 ・オリジナルの考えを作品に取り入れる。 ○製品の加工 ・製作の準備をしよう。 ・材料取りをしよう。 ・部品の加工をしよう。 ・それぞれの加工法で反省をしよう。	・等角図、キャビネット図をつかって作図する。【技・工】 ・製図の小テスト【関・技】 ・積極的に発言する。【関】 ・ノートをきちんとまとめる。【関・知】 ・安全に気をつけながら積極的に作業に取り組む。【関・技】 ・けがき、のこぎりびき、切削、穴あけなどの作業を正確にできる。【技】 ・作業段階ごとの課題に取り組み、反省を行う。【関】 ・作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 ・作品例に独自のアイデアを取り入れる。【工】 ・部品を図面通りに組み立てできる。【技】 ・班で協力しながら、作業を進める。【関・技】 ・作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 ・定期テスト【工・技・知】
3年3学期	○組立と仕上げ ・組み立てをしよう。 ・仕上げをしよう。 ・製作全体でまとめをしよう。	・積極的に発言する。【関】 ・ノートをきちんとまとめる。【関・知】 ・班で協力しながら、作業を進める。【関・技】 ・作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】 ・製作をふり返り、反省やまとめ、感想を用紙にまとめる。【関】 ・定期テスト【工・技・知】

大池中学校	3学年	家庭
-------	-----	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	1. 幼児の体や心・生活習慣の発達、幼児期の生活について知り、自分の成長と比べることで、幼児期を振り返る。 2. 幼児の成長と家族や周囲との関わりについて考えるとともに、これからの自分についても考えるようになる。 3. 幼児の生活や発達の特徴を理解し、簡単なおもちゃを製作することができる。 4. 保育園を訪問して、幼児との触れ合い活動に関心を持って取り組むことができる。
使用教材	教科書：技術・家庭 家庭分野（東京書籍） 教材：ワッペン材料

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
関心・意欲・態度 生活や技術への関心	①授業や製作に意欲的に取り組み、能率良い時間の使い方ができるか。 ②授業で使うワークシートは確実に書き込みができていないか。 ③製作に必要な物のなど授業の準備が十分できているか、後片付けがきちんとできるか。	①学習活動への参加の仕方や態度（見取り） ②課題への取り組み（ワークシート） ③授業への準備（宿題・持ち物調べ等）
生活や技術を創る能力 生活や技術を創る工夫	①作品に工夫があるか。 ②作業中や準備片付けの際に工夫や計画性が見られるか。 ③ワークシートやテストで、自分の感想や考えを書く部分がしっかりできているか。（着眼点・発想など）	①作品に見られるアイデア・工夫 ②作品製作中の工夫・計画性 ③ワークシートやテストの創意工夫を問う部分のでき
生活の技能 生活の技能	①作品は丁寧に、きれいに作り上げてあるか。 ②作業中に見られる用具の使い方や、基本的な技能が身についているか。 ③幼児との触れ合い活動において、幼児の心身の発達とのかかわりなど。	①作品のできばえ ②作業中の様子（見取り） ③保育実習（実習、実習計画）
知識・理解 生活や技術への知識・理解	①授業中の発言やワークシートで生活に関する知識や経験が見られるか。 ②幼児の成長や生活・家族のかかわりについて基本的な知識が身についているか。	①授業の発言内容 ②定期テスト

3. 学習方法についてのアドバイス

学校で	- 授業に必要な物を確実に準備すること。（特に製作時） - 授業中に友達と交流するときは、友達の意見を大切にしよう。 - 授業ではワークシートをしっかりと書き込もう。大切なことはメモする習慣を付けよう。 - 作業をするときは、授業の進度に大きく遅れないように時間の使い方を工夫しよう。 「どうすれば能率が良いか」「どうすればより良くてできるか」常に考え、1度や2度の失敗であきらめることなく根気よく取り組もう。 - すぐ人に聞かず、自分でもよく考えよう。
家庭で	- 調べ学習の宿題が出たときは丁寧にやろう。 - 学習したことを家で実践しよう。その感想などもワークシートに書き込んでいくと良い。

4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	幼児の体や心の発達 ・心身の発達 ・運動機能の発達 ・心の発達 ・生活習慣の形成	関心 ・授業の準備をきちんとし、授業内容に関心を持って積極的に取り組むことができるか。 ・ワークシートや振り返りシートへの書き込みが確実・丁寧か。 工夫 ・ワークシートやテストで、自分の感想や考えを書く部分がしっかりできているか。（着眼点・発想など） 知識 ・ワークシートや発言の中に、豊富な知識や十分な理解が見られるか。 ・幼児の体や心、運動機能の発達・生活習慣の形成について、正しく理解できているか。
2 学期	保育実習の事前学習 ワッペン作り 幼児の生活と遊びを知ろう 保育実習 幼児の体や心の発達 ・子どもと周囲の人々	関心 ・製作に関心を持って取り組むことができるか。 ・時間を有効に使い、授業の準備や作業の後片付けがきちんとできるか。 ・幼児との触れ合い活動を通して、幼児に関心を持ち、適切にかかわろうとしているか。 工夫 ・作品製作中に工夫したり、計画的に作業に取り組んだりできているか。 ・幼児の心身の発達に応じた関わり方について、自分なりに考え、工夫している。 技能 ・幼児の発達にあった作品が丁寧に美しく作り上げられているか。 ・幼児の遊びや遊び道具、遊びと心身の発達のかかわりなどについて、観点に基づいて観察し、整理することができる。 知識 ・作品の作り方が理解できているか。 ・幼児の生活と遊びの特徴を理解できているか。
3 学期	幼児の生活と発達 ・子どもを育てる環境と家族とのかかわり ・食生活	関心 ・授業の準備をきちんとし、授業内容に関心を持って積極的に取り組むことができるか。 ・ワークシートや振り返りシートへの書き込みが確実・丁寧か。 ・時間を有効に使い、授業・実習の準備や後片付けがきちんとできるか。 工夫 ・幼児が喜ぶおやつを工夫することができる。 技能 ・幼児が喜ぶおやつ作りで、基本的な技能を身につけているか。 知識 ・幼児の取り巻く環境について、正しく理解できているか。

大池中学校	3 学年	外国語科
-------	------	------

1、学習のねらい

使用教材	教科書：NEW CROWN 3（三省堂）
	補助教材：英語フレンドノート 前期・後期（正進社） ジョイフルワーク（新学社）
学習のねらい	- 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。 - 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 - 聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を身につける。 - 基礎的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなど伝えたいことを話したり書いたり表現できる力を身につける。

2、評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	- 発音練習や音読、通訳練習などの言語活動に積極的に取り組んでいる。 - 工夫して英語でのコミュニケーションを続けようとする。 - 与えられた課題ページをきちんと暗唱することができる。 - 予習復習としてノートやワークなどの課題をしっかりとできる。	- 授業への取り組みの姿勢 - 発言の様子 - 提出物の内容と提出状況 - 暗唱課題の達成率
② 外国語表現の能力	- 初歩的な英語や既習の文法事項を用いて、自分の考えや気持ちを正しく話したり、書くことができる。 - 初歩的な英語や既習の文法事項を用いて、場面や相手に応じて適切に話することができる。 - 教科書の音読やスピーチ、暗唱を英語のリズムや音などを意識して適切にできる。 - YEFとの会話やQ-Aなどに対して意欲的に、正しい英語を用いて表現できる。 - さまざまなテーマについて簡単なレポートにすることができる。	- スピーチや暗唱での表現力 - 会話テスト・リーディングテスト - 日記や作文課題の内容 - 小テスト - 定期テスト(表現に関する問題)
③ 外国語理解の能力	- 教材となっている本文や英語の情報を正しく聞き取ったり、読み取ることができる。 - 友達のレポートやスピーチを正しく聞き取ることができる。 - 初歩的な英語を場面や状況に応じて適切に聞いたり、読み取ることができる。	- リスニングテスト - 小テスト - 定期テスト (聞き取り・読み取りに関する問題)
④ 言語や文化についての知識・理解	- 新しく学習する語彙や表現を理解し覚える（運用する）ことができる。 - 新しい文法事項や初歩的な英語表現に関する知識を身につけ、覚える（運用する）ことができる。 - 英語の本文や教材などを通して、日本と外国文化について理解することができる。 - 自国の文化や外国文化について調べ、知識として身につけることができる。	- 小テスト・単語テスト - 定期テスト(語彙・文法に関する問題)

3、学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	- チャイムが鳴るまでに授業準備をして、着席し、前回学習した内容を見直す。 - 授業中は、話をしっかり聞く。音読やリピートでは声をしっかり出して英語を言う。 - ペアワークでは、時間いっぱい練習する。わからないことは積極的に教えてもらう。 - 発問などには積極的に参加し、英語をたくさん使う。 - ノート、ワーク、レポート、プリントなどの提出物は丁寧に仕上げ、期日を守る。
	家庭	- 予習として、単語調べを確実にしてくる。復習として、本文写し・日本語訳をノートにする。 - 教科書の本文は、声を出して何度も読む。暗唱指定ページは、覚えるまで繰り返し練習する。 - 単語や基本文など、繰り返し声を出しながら読み、何度も書く。 - ワークやプリントで習ったところを練習する。理解するまで答えや解説をしっかりと読む。 - NHKラジオ講座（特に基礎英語3など）やTV講座やリスニングのCDなどをできる限り聞く。 - 英語検定試験などを目標にして学習を広げる。

4、学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
1 年	Let's Read2 (NEW CROWN 2) Landmines and Aki Ra LESSON1 My Favorite Words 心にひびくことは GET This room is cleaned ... USE(READ) スピーチを読む USE(SPEAK) 好きな言葉についてスピーチする Let's Talk 1 道案内をしよう Could you tell me ...?	【関】 ：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。間違うことを恐れず積極的にスピーチしている。 【表】 ：自分の好きなことやものについて適切にスピーチすることができる。道案内することができる。内容が伝わるようにスピーチ原稿を音読することができる。 【理】 ：スピーチ原稿を読んで書かれた内容を読み取ることができる。 【言】 ：受け身に関する知識を身につけている。
	LESSON2 France- Then and Now フランスと日本の文化交流 GET① I have lived ... GET② Have you lived ...? How long have you lived ...? USE(READ) 記事を読む USE(WRITE) 自己紹介カードを書く 文法のまとめ Let's Listen1 動物園のアナウンスを聞く Let's Talk2 どうでしたか What's wrong?	【関】 ：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。間違うことを恐れず積極的にインタビューしたり、病状についてたずねたり、説明する会話を行っている。 【表】 ：好きな人物、あこがれの人物について、友達にインタビューできる。また人に病状についてたずねたり、説明することができる。 【理】 ：インタビューを聞いて、話されている内容を聞き取ることができる。また、紹介記事を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。 【言】 ：現在完了形（継続用法）に関する知識を身につけている。また病状についてたずねたり、説明する表現の知識を身につけている。

予期	LESSON3 Rakugo Goes Overseas 世界にはばたく伝統芸能 GET① I have just finished ～. Have you finished …? GET② Tom has visited ～ once. Has Tom ever visited …? USE(READ) インタビューを読む be glad to～? USE(SPEAK) 会話を広げる 文法のとめ Review 時制 Project 1 先生にインタビューをする Let's Listen 2 英語落語『時そば』を聞く	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。間違うことを恐れず積極的にインタビューや買い物をする会話を行っている。 【表】：身近な人にインタビューすることができる。人に何かをていねいに依頼する会話をすることができる。インタビューの内容に基づいて、プロフィール表を書くことができる。 【理】：インタビューを聞いて、要点を聞き取ることができる。インタビュー記事を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。 【言】：現在完了形（経験・完了用法）に関する知識を身につけている。人にていねいに依頼する表現の知識を身につけている。
	LET'S READ 1 Dolphin Tale	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。多少わからないところがあっても、読み続けている。 【表】：音読がきちんとできる。 【理】：説明文の内容を読み取ることができる。 【言】：自然界から学ぶことについて理解する。新しい語彙をきちんと覚える。
2学期	LESSON4 The Story of Sadako 佐々木禎子さんの物語 GET① We call the dog Pochi. The book makes me happy. GET② It is ～for A to…. USE(READ) 物語を読む USE(WRITE) 物語の要約文を書く 文法のとめ Let's Listen 3 テレビニュースを聞く Let's Talk 3 買い物しよう Would you ～?	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。間違うことを恐れず積極的にメッセージを書いたり、人に何かを提案する会話を行っている。 【表】：人に何かを提案する会話をするができる。気持ちをこめて物語を音読することができる。大切なことを伝えるメッセージを書くことができる。 【理】：ニュースを聞いて、話されている内容を読み取ることができる。物語を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。 【言】：「call+（代）名詞+名詞」や「make+（代）名詞+形容詞」や不定詞の特殊な用法（It is …（for A）to不定詞）に関する知識を身につけている。
	LESSON5 Places to Go, Things to Do どこに行って何をしよう GET① a book that has ～ GET② a teacher who comes ～ a bus which goes ～ GET③ the letter that I received ～ the book which I read ～ USE(READ) USE(SPEAK) 行きたい場所についてスピーチをする 文法のとめ Let's Listen 4 旅行案内を聞く For Self-study 1 単語の世界を広げよう	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。間違うことを恐れず積極的に日本についての説明や人に何かを申し出る会話を行っている。 【表】：行きたい場所について説明できる。人に何かを申し出る会話をすることができる。説明のためのメモを書くことができる。 【理】：メッセージを聞いて、要点を聞き取ることができる。図鑑・辞典などの説明文を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。 【言】：関係代名詞主格（who/which/that）目的格（that/which）に関する知識を身につけている。人に何かを申し出る表現の知識を身につけている。
	LESSON6 I Have a Dream キング牧師のえがいた夢 GET① the girl playing … a book written by… GET② The country I want to visit… USE(READ) 物語を読む USE(WRITE) 人物を紹介する記事を書く Review 修飾することば Let's Listen 5 英語のスピーチを聞こう Let's Talk 4 玉子料理はいかがですか Would you like …? Project 2 日本文化を紹介しよう	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。間違うことを恐れず積極的にスピーチをすることができる。また人に食べ物や飲み物をていねいにすすめる会話を行っている。 【表】：尊敬する人物を紹介するスピーチをすることができる。人に食べ物や飲み物をていねいにすすめる会話をするができる。気持ちをこめてスピーチ原稿を音読することができる。スピーチ原稿を書くことができる。 【理】：スピーチを聞いて、要点を聞き取ることができる。物語を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。 【言】：現在分詞及び過去分詞による後置修飾や「名詞+主語+動詞～」の形で修飾に関する知識を身につけている。食べ物や飲み物をていねいにすすめる表現の知識を身につけている。
	LESSON7 English for Me わたしにとって英語って？ GET① Tom wants me to… GET② I don't know why Amy is… USE(READ) 投稿記事を読む USE(SPEAK) 会話をコントロールする とめ Let's Talk 5 電話をしよう Could you…? Let's Listen 6 英語の歌を聞く Project 3 ディスカッションをしよう	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。暗唱に積極的に取り組む。会話を継続することができる。間違うことを恐れず積極的に人にていねいに依頼する会話を行っている。 【表】：身近な話題について即興で話をするすることができる。人にていねいに依頼する会話をするができる。 【理】：新聞の投稿記事を読んで、書かれている内容を読み取ることができる。 【言】：「want(tell/ask/help)+A+to～」を使った表現や間接疑問文に関する知識を身につけている。不定詞の特殊な用法（疑問詞+to不定詞）に関する知識を身につけている。人にていねいに依頼する表現の知識を身につけている。
3学期	Let's Read2 We Can Change Our World	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。多少わからないところがあっても、読み続けている。 【表】：書き手の立場に立って手記を音読することができる。 【理】：手記を読んで、話のあらすじを読み取ることができる。 【言】：新しい語彙をきちんと覚えて、その表現を使った問題を解くことができる。
	Let's Read3 The Story of Nishikori Kei	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。多少わからないところがあっても、読み続けている。 【表】：書き手の立場に立って手記を音読することができる。 【理】：手記を読んで、話のあらすじを読み取ることができる。 【言】：新しい語彙をきちんと覚えて、その表現を使った問題を解くことができる。
	Further Reading 1 Further Reading 2 Further Reading 3 Songs【英語の歌】	【関】：繰り返して読んだり読み返したりして読み続けている。 【表】：内容が伝わるように音読することができる。 【理】：英文を読んで、その内容を読み取ることができる。

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(5領域)
四日市市立大池中学校

学年	ステップ	Listening	Speaking		Reading	Writing
			やり取り	発表		
3	6	話し手に聞き返したり、質問したりできるよう、内容を確認しながら聞くことができる。	相手との会話の中でYes/No Questionや疑問文を含む質問を投げかけ、それに応じた回答を得たり、答えたりできる。その中で答える側は合図値を打ったり、つなぎ言葉を使うことができる。	スピーチ原稿を順序立てて作成し、まとまりのある文章で発表できる。また、アイコンタクトや抑揚をつけて発表できる。	様々な文章(物語文や説明文等)を読んで、その概要や要点を理解するとともに、それに対して感想を述べたり、理由を示したりできるよう、自分の考えを持って読むことができる。	身近なテーマについて、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、まとまりのある文章を書くことができる。
		Let's Listen 5 (英語のスピーチ) Let's Listen 6 (英語の歌)	Lesson 3 USE Speak (会話を広げよう)	Lesson 3 Project 1 (学校の先生紹介) Lesson 5 Project 2 (日本文化を紹介しよう) Lesson 5 Speak (行きたい場所について紹介するスピーチ) Lesson 7 Project 3 (ディスカッション)	Let's Read 1 (物語文) Let's Read 2 (社会貢献) Let's Read 3 (体験手記)	Lesson 1 (好きな言葉についてのスピーチ原稿) Lesson 2 (自己紹介)
	5	ゆっくり、はっきりと話されれば、まとまりのある少し長めの英文(会話やアナウンス等)を聞いて、全体の概要や内容の要点を正確に聞き取ることができる。	登場人物の会話内容を理解し、ペアで登場人物になりきり、会話を続けることができる。	自分の好きな言葉を元にスピーチ文を作成して「好きな言葉」、「なぜ好きなのか」を明確にした上で相手に伝えることができる。	まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分などを正確に読み取り、自分の言葉で内容について簡単に説明することができる。	身近な人や写真、事物の説明などを、文のつながりや文章の構成などを意識して、まとまりのある文章を書くことができる。
		Let's Listen 1 (動物園のアナウンス) Let's Listen 2 (英語落語「時そば」) Let's Listen 3 (テレビニュース) Let's Listen 4 (旅行案内)	Let's Talk 1 (道案内) Let's Talk 2 (病状を尋ねる) Let's Talk 3 (買い物) Let's Talk 4 (家庭内での会話) Let's Talk 5 (電話での会話)	Lesson 1 (好きな言葉についてのスピーチ)	Lesson 3 (落語) Lesson 7 (自分にとっての英語)	Lesson 4 (物語の要約文) Lesson 6 (人物紹介)
	4	簡単なスピーチやなじみのあるトピックについてのプレゼンテーションを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。	友達の家や電話、お店などで、許可を求めたり、謝罪したり、苦情を言うなど、自分の気持ちを伝えながら、会話を続けることができる。	聞き手に効果的に伝わるように、自分たちが興味があるものについて、プレゼンテーションすることができる。	まとまりのある英文(説明文等)を読んで、その概要や書き手の意向を読み取り、要点を把握することができる。	自分の興味のある事柄についての基本的な情報を、辞書等を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。
		Let's Listen 6 (プレゼンテーション)	Let's Talk 5～7	Lesson 7 (プレゼンテーション)	Lesson 3 (The Ogasawara Islands) 講演資料 Lesson 4 (Enjoy Sushi) Lesson 8 (India, My country) 説明文 Lesson 5 (Uluru) ガイドブックのコラム Let's Read 2 (Landmines and Aki Ra) 自伝	Lesson 5 USE Write (自分の好きな国についてのエッセイ) Project 2 (自分の夢を紹介)
2	3	繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきりと話されれば、天気予報やアナウンスを聞いて、自分にとって必要な情報を聞き取ることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、聞き手に正しく伝えたり、聞き手からの質問に適切に応じたりすることができる。	身近なトピックについて、教科書のモデル文や既習の表現を活用して、自分の考えや気持ち、事実などを話すことができる。	英文の内容を考えながら黙読したり、内容が伝わるように音読することができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、自らの体験や経験について、書くことができる。
	1	Let's Listen 1 (ニュース) Let's Listen 2 (天気予報) Let's Listen 4 (空港・機内のアナウンス) Let's Listen 5 (留守番電話)	Lesson 1 USE Speak (相づち) Lesson 4 USE Speak (確認) Let's Talk 1～4	Lesson 6 (将来の夢のスピーチ)	Lesson 2 (Peter Rabbit) 物語文 Let's Read 1 (A Pot of Poison) とんち話	Lesson 1 (春休みの思い出) Project 1 (有名人を紹介)
	2	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、自己紹介や身近な話題についての短い英文を聞いて、話し手の伝えたいことを理解することができる。	基本的な語や表現を用いて、自分のことや身の回りの物など、身近な話題について簡単な会話をすることができる。	基本的な語や表現を用いて、絵や写真を見せながら、準備をした上で簡単な人の紹介をや自分の大切なものについて話すことができる。	図や写真などを手がかりに、身近な話題についての短い文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。	基本的な文の決まりに従って、自分や身近な人や物を紹介する文章を書くことができる。
1	2	Let's Listen 2 (インタビュー) Let's Listen 4 (テレビ番組) Let's Listen 5 (ビデオレター) Let's Listen 6 (昔話)	Lesson 4 (身近な環境問題) Lesson 5 (新しいクラスメート) Let's talk 5～9	Lesson 6 Project 2 (友達や家族など、人の紹介) Project 3 (大切なものを紹介しよう)	Lesson 7 (いろいろなスポーツ) Lesson 8 (外国の中学校生活) Lesson 9 (日本の身近な年中行事) Let's Read (物語)	Lesson 1 (あいさつ・自己紹介) Lesson 2 (人や物の紹介) Lesson 3 Project 1 Project 3 (自己紹介) Lesson 6 Project 2 Project 3 (友達や家族など、人の紹介)
		本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な英語を聞いて、具体的な行動に移すことができる。	基本的な語や表現を用いて、あいさつや日常的な会話をすることができる。	基本的な語や表現を用いて、簡単な自己紹介、人や物の紹介をすることができる。	アルファベットや身近な暮らしに関わる単語について、正しい発音で読むことができる。	アルファベットの大文字・小文字、単語のつづりをブロック体で書くことができる。
	1	Simon Says Classroom English Let's Listen 1(電話) Let's Listen 3(学校生活)	Classroom English Lesson 1 (あいさつ) Let's Talk 1～4	Lesson 1 (自己紹介) Lesson 2 (人や物の紹介) Lesson 3 Project 1 (自己紹介)	Get Ready 1～4	Get Ready 3 (アルファベットを覚えよう)